

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

15001

改良住宅建替建設事業（補助）

[長期総合計画]

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政策	3	豊かな暮らしを支える住環境の整備
施策	1	居住環境の整備
取組方針	1	良好な居住環境の確保

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計			
	款			
	項			
	目			
	大事業 中事業			

事業種別	継続	関連個別計画	
事業年度	平成22年度 ~ 平成32年度	担当課・担当課長・Tel	住宅第2課 南泉 雅己 435-1103
事業実施の根拠法令		関連課	

1 事業内容

事業目的	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）		全体事業概要		
	老朽化や耐震性が乏しい市営住宅の建替えによる住環境の改善		和歌山市営住宅長寿命化計画に基づく市営住宅の建替事業		
事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度
	東和・東和第2更新住宅建設工事 更新団地への住替え 東和・東和第2団地解体設計委託 汐見更新住宅建設工事	東和・東和第2団地解体設計委託 東和・東和第2団地解体撤去工事 汐見更新住宅建設工事	東和・東和第2団地解体撤去工事 事後家屋調査 （仮称）汐見更新住宅建設工事 事後家屋調査・移転補償金	汐見・高千穂団地解体工事設計	汐見・高千穂団地解体撤去工事

2 事業コスト

事業費等（千円）	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和02年度		
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	
事業費	932,040	855,623	839,977	951,541	381,662	1,158,485	31,097	0	553,729	0	
伸び率（%）	0%	0%	△9.9%	11.2%	△54.6%	21.7%	△91.9%	△100%	1,680.7%	0%	
人件費	正規職員	60,564	59,849	60,060	60,060	60,180	60,500	57,063	0	57,063	0
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	60,564	59,849	60,060	60,060	60,180	60,500	57,063	0	57,063	0
国庫支出金	464,820	535,145	196,709	509,852	59,629	324,600	17,848	0	217,263	0	
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
市債	444,100	307,700	616,200	428,500	288,300	833,700	8,800	0	336,400	0	
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
一般財源（税等）	23,120	12,778	27,068	13,189	33,733	185	4,449	0	66	0	
所要人数（人）	7.62	7.53	7.53	7.53	7.53	7.57	7.14	0.00	7.14	0.00	
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
主な予算内訳	建設工事請負費308,988千円、工事監理委託料3,009千円、移転補償金26,240千円										

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度
			目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
予算執行率	千円	目標値	932,040	839,977	381,662		
		実績値	855,623	951,541	1,158,485		
		達成度(%)	91.8%	100%	100%	%	%
成果指標	千円	目標値	932,040	839,977	381,662		
		実績値	855,623	951,541	1,158,485		
		達成度(%)	91.8%	100%	100%	%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	○	おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	老朽化した改良住宅の建替えのため、計画どおり現状で進めていきたい。
見直し・改善内容	高齢化に伴い、今後の建設時は全戸バリアフリー化を検討する。